



朝晩の肌寒さや、薄くなり始めた银杏の葉の色に、秋の深まりを感じる季節となりました。

2週連続で大型の台風に襲われ、各地で大きな被害が出ています。東日本大震災で地盤沈下した被災地が、台風による大雨で広範囲にわたって浸水しているとのこと、重なる被害で苦難の中にいらっしゃる方々に心を寄せつつ、「ひとりの小さな手 通信 第19号」をお届けします。

集中豪雨による浸水や土砂崩れ、火山の噴火など、日本各地で起こるさまざまな自然災害に驚き、被災されている多くの方々の苦しみ悲しみを思い心痛む日々が続いています。東日本大震災の被災地への支援に加え、「ひとりの小さな手」の活動を通して、何か少しでも各被災地への支援ができれば、と考えながら小さな歩みを進めていきたいと思っています。

幼稚園の「のげやまフェスティバル」で広島の土砂災害被災地への支援募金をしていた時のことです。まだ年少さんかと思われる小さな女の子の前にお母さんがしゃがんで「雨がいっぱい降ってお家が流されちゃった人がいたでしょう。その人たちのために使っていただくのよ。」と話し、硬貨を女の子に渡していました。女の子は頷き、小さな手で募金箱に硬貨を入れながら、「お願いします。」と言ってくれました。こうしたやり取りの中で改めて、すべての支援が、皆の心が込められた温かい支援なのだなあと感じる事ができました。

私たちにできることは小さいですが、日々、苦難の中にある方々に心を寄せて祈りつつ、一人ひとり自分にできることを考えていきたいと思えます。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど
それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
ひとりの小さな目 何も見えないけど
それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
ひとりの小さな声 何も言えないけど
それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
ひとりの人間は とても弱いけど
それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

第11回 チャリティーコンサート



多彩で豊かな調べ。
時に力強く、そして優しく、
繊細で、素晴らしい演奏に感動のコンサートでした。会場全体が、
一つとなり、心温かにされ、被災地への想いを一層深くいたしました。

指揮者 中尾幹さん→



指揮者の中尾さんよりメッセージをいただきました…



この度は、11回目となるチャリティーコンサートへ出演のお声掛けをいただき、誠にありがとうございました。会場設営やお客様への対応、終演後の片付けにいたるまで、皆様の迅速な動きと細かなお心遣いに甘え、我々は心おきなく演奏へ力を注ぐことができました。また、演奏前の礼拝を舞台袖で一緒に、いつも以上に東北への思いを強く持って演奏させていただけたように思います。

終演後にお話をさせていただいたお客様方からは、教会でハンドベルを聴ける喜びのお言葉や、教会が会場だからこそ、演奏を聴きながら被災地への思いや考えをめぐらせることができたとの感想をいただきました。我々も、皆様の祈りと願いに溢れる「花は咲く」の歌声を忘れることはありません。

今回、我々と同じ目的をお持ちの牧師先生ご夫妻や、教会員の皆様と出会えたことを新たなエネルギーに、我々はこれからも大好きなハンドベル演奏を通してお役に立てる方法を探す所存です。東北に暮らす方々が、今以上にたくさんの笑顔で人生を送られるよう願ってやみません。

Handbell Company 一音・Handbell Ensemble YD 指揮者 中尾 幹

◇活動報告

○7月 子どもの教会アンデレクラス デコパージュバッグ作り

8/3(日) 仙台支援グループ 清水さんへ

ミニバッグ&トートバッグ 合わせて18枚を発送

子どもの教会のアンデレ(大人)クラスのメンバーが、布製バッグにデコパージュの飾りつけをし、3月で支援活動に区切りを付けられた仙台の支援グループの皆さんに送りました。とても喜んでいただき、被災地のお母さんや子どもたちの支援にも使ってくださいとのことでした。仙台とのつながりも大切にしていきたいと思います。

○8月30日(土) のげやまフェスティバル

広島土砂災害被災地へ支援募金 16,444円

8月に起きた広島の土砂災害被災地への支援のために募金活動を行いました。ご協力ありがとうございました。

○9月28日(日) 第11回 東日本大震災復興支援チャリティーコンサート開催

東京世田谷区を拠点に活動されているHandbell Ensemble YDと名古屋で活動されているHandbell Company 一音 2つのハンドベルグループをお招きし、第11回チャリティーコンサートが開かれました。この2つのグループは、指揮者をされている中尾幹氏の呼びかけにより、東日本大震災被災地の復興を願ってチャリティー活動を続けており、近く、被災地での合同コンサートも企画されているそうです。

礼拝堂に集った多くの方々と共に、素晴らしいハンドベルの響きに満たされ、被災地への祈りを捧げることができましたことを心より感謝いたします。

チケット代 108,500円 手作り手芸品販売 15,700円

チャリティー支援金 8,722円 手作りケーキ販売 43,900円

出演者の交通費補助など経費を除くチケット代、支援金、売上金は、のげやまフェスティバルでの支援金と合わせ、広島土砂災害被災地へ赤十字を通して50,000円、陸前高田へ20,000円、南相馬聖愛保育園へ50,000円を送らせていただきました。また、南三陸への支援として、ハンドベルサークルYDに50,000円を委託しました。多くの皆さまにご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

◇今後の予定

第12回 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート

来年3月頃の開催を目指して企画検討中です。

詳細が決まり次第、また皆様にお知らせいたします。



東日本大震災で自宅を津波で流されてしまった千葉ノリ子さん。千葉さんはその時在園していたしいのみ組のお母さんのお知り合いでした。

「お知り合いで困っている方がいらしたら声をかけてください」とお話ししていましたので、そのしいのみ組のお母さんを通して、ほんの小さなことでしたが私たちにできることをしたところ、すぐに気持ちをいただけたことがとても嬉しかったとずっと千葉さんの心の片隅に覚えていてくださったようです。

震災から3年9か月。今は岩手県の遠野にお住まいで元気に過ごしておられるそうです。「カエルの幼稚園」ということを聞いていたようで、どんぐりの帽子で作った「カエル」を送ってくださったとのことでしたしいのみ組のお母さんが届けてくださいました。

まだまだ大変なことがたくさんあるかと思いますが、小さなことでしたのに覚えていてくださったこと、心から嬉しく思いました…



ひとりの小さな手プロジェクト

(野毛山キリストの教会・子どもの教会・野毛山幼稚園)

ホームページ

野毛山幼稚園ホームページ

<http://www.nogeyama-kg.ed.jp/>

ひとりの小さな手

所在地

〒220-0032 横浜市西区老松町 30 番地

野毛山キリストの教会 野毛山幼稚園

電話 045-231-0150

代表者

奈良亜樹子 根岸ひろみ

振込先

ゆうちょ銀行 記号 10230 番号 53392321

被災地からのお手紙 等
掲示板に掲示しています。
どうぞ、ご覧ください。

発行 2014年10月17日

ひとりの小さな手プロジェクト

事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地

野毛山キリストの教会

野毛山幼稚園

根岸ひろみ 山下綾子 福馬麻子